



カンボジアの幼稚園でこいのぼり

JICA 海外協力隊 2023 年度 2 次隊/カンボジア/幼児教育

柳美穂

クメール語で「こんにちは お元気ですか？」

ជំពូកស្ត្រី អ្នកទាំងអស់គ្នាសុខសប្បាយទេ? (チョムリアップスオ ソクサバーイテー?)

私は 2023 年 11 月からカンボジアのクラチェ州にある幼稚園で JICA 海外協力隊として活動しています。先日私の活動先である3か所の幼稚園全 13 クラス、およそ 540 名の子どもたちとこいのぼり製作をしました。その際に埼玉県内にあるいくつかのこいのぼりの名所の写真を活用し、こいのぼりがどのようなものなのか、どうして飾るのかななどを子どもたちに伝えました。また SNS や掲示物を通して保護者や先生たちにも知らせ、カンボジアの人々が日本の伝統行事に触れるきっかけを作りました。その様子を共有したいと思います！



まずはこいのぼりについての説明を。クメール語は発音が難しいためノートにクメール文字を書いたものを用意し、担任の先生にフォローしてもらいながら子どもたちに伝えました。左の写真はまさに埼玉県内のこいのぼりを紹介しているところです。大きなこいのぼりが大空を悠々と泳ぐ写真に、驚いたような顔をしている子どもたちがとても印象的でした。「こいのぼり」だけでは少し覚えにくいのではと考え、「ត្រីជប៉ុន (日本の魚)」とかなり簡単な表現も加えました。するとその後何度も「ត្រីជប៉ុន (日本の魚)！」とワクワクしながら話す子どもたちがたくさんいました。

次に手順やルールを子どもたちに説明。実は子どもたちが幼稚園で絵の具を使った活動を行うのは初めて…！どのくらいの量を手につけるのかを実際にやって見せました。また「ルールを守って楽しく製作」をするために、〇人ずつ行う、色は混ぜずに一人ひとつの色を使う、終わったらタライで手を洗うといったことも、実際に私が見本になって動きながら伝えました。これらは日本の保育者にとっては当たり前のことかもしれませんが、カンボジアの幼稚園ではあまり見られないため、子どもたちを叱ることなく「楽しく」指導するための方法を先生たちに伝える意味も含まれています。



ちなみにカンボジアのこどもの日は
国際こどもの日である6月1日とされています。

手順や約束を聞いた後はついに子どもたちの出番です。初めての経験で緊張しているのか私の顔を伺いながら慎重に絵の具を手につける子どもたち。私が笑顔で「やってごらん」「大丈夫」「もっと絵の具つけていいよ」などと伝えることで、緊張が解けていく様子が見られました。実際に自分の手形が現れた瞬間、パアッと笑顔になる子どもたちと目が合うと私も嬉しい気持ちになりました。



完成！心地よい風と共に揺れるこいのぼりは、本当に空を泳いでいるようで綺麗でした！



これまでカンボジアの子どもたちと関わってきてあらゆることに興味関心が薄かったり笑顔になることが少なかったりするなあと感じてきました。こいのぼり製作では自然と笑顔がこぼれ、楽しむ子どもたちの姿がありました。自ら「もう1回やりたい」と何度もやろうとする子どもがいたことがとても印象的でした。正直準備は大変でしたが、こいのぼり製作に挑戦して本当に良かったです！

これからも日本とカンボジアの子どもたちが、そして世界中の子どもたちが、こいのぼりのように大きくのびのびと成長していきますように！

最後に、私が生まれ育った埼玉県深谷市といえば…

「栄一も 食べたネギ入り にぼうとう」(彩の国 21 世紀郷土かるたより)
そこでカンボジアの定番麺料理を2つご紹介します！

「គុយទាវ (クイティウ)」

塩系のスープにお米で出来た麺、もやし、小ネギ、ニンニク、豚肉や鶏肉、牛肉等が入っています。

朝食で食べるのが定番です。お好みでライムや唐辛子、チリソース、胡椒、砂糖などを加えてカスタマイズできます。私はさっぱりするのでライムだけ絞って足すのがお気に入りです！



これで6000 リエル (約 230 円)

「នំបញ្ចក់ (ノンバンチョック)」

こちらもお米で出来た麺ですが、日本語ではよく「そうめん」と訳されます。



これで4000 リエル (約 150 円)

きゅうりやバナナの花などが入っていて、スープはカレー風と、川魚をベースにしたものがあります。この麺と焼肉を葉物野菜で巻いてスパイシーなソースをつけて食べることもあります。先生たちとの飲み会では必ずあります！

ご覧くださりありがとうございました！អរគុណច្រើន ជំរាបណា ! (2025/05/05)